

次世代へ光り輝く「教育立県ちば」の実現を目指して ～新しい時代を生きる「生きる力」の育成～

千葉県教育委員会教育長 とみづか 富塚 まさこ 昌子



1 はじめに

本年4月に千葉県教育委員会教育長に就任いたしました。皆様の御協力をいただきながら、千葉の未来を担う子供たちの教育に、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 千葉県の取組

今日の教育行政においては、少子高齢化の進行、IoTやAIなどをはじめとする技術革新の進展といった社会の変化・変革の中で、時代に対応して自らの力で未来を切り拓き、地域社会の支え手となる人材を育成することが求められます。また一方で、子供たちの学習意欲や体力低下への対応、様々な困難を抱える子供への支援、教職員の働き方改革など多様な課題にも向き合っていかなければなりません。こうした厳しい環境の中で、各教育委員会や学校現場において意欲的に職務にあたられている皆様に心から敬意を表します。

県では、昨年2月に策定しました第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」に基づき、子供たちが人生を主体的に切り拓くための学びの確立や、教職員が子供と向き合う時間を確保するための取組の推進、家庭・地域と学校との協働により地域全体で子供を育てる体制の構築などに取り組んでいます。

千葉県の子供たちに、「千葉に生まれて、この学校で学べてよかった。この先生に出会えてよかった。自分の子供もここで育てたい。」

と思ってもらえるよう、教育委員会や地域の方々の力を学校に結集させ、千葉の教育の力を最大限高めるため、各種施策の一層の推進を図ってまいります。

それでは、今年度の取組の一端を紹介いたします。

○新型コロナウイルス感染症対策について

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、長期にわたる臨時休校、学校行事の延期や中止など、教育活動や子供たちの生活に大きな影響がありました。現在も、変異株の感染拡大など懸念が続く中で、市町村教育委員会及び各学校の先生方の御努力や地域・保護者の皆様の御理解と御協力、そして子供たちの創意工夫により、感染防止対策を徹底しながら、学習や部活動の継続が図られています。県教育委員会としても、国のGIGAスクール構想による全小中学校への1人1台端末の整備や、多くの先生方の御協力のもとでの授業動画の作成等により、学びの保障に努めてまいりました。

今年度も引き続き、授業動画の作成等による教育活動継続のための支援や、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置強化等による子供たちの心のケアに努めてまいります。

○学校における働き方改革について

昨年度の勤務実態調査の結果から、いわゆる「過労死ライン」といわれる一月当たり正



規の勤務時間を80時間を超えて在校している教諭等は徐々に減少し、一定程度の改善が見られましたが、45時間を超える教諭等の割合が、中学校では6割を超える状況にあります。

県教育委員会では、国の指針やこれまでの取組の成果と課題を踏まえて、「学校における働き方改革推進プラン」を本年3月に改定しました。

同プランに基づき、総労働時間の短縮に向けた業務改善等に取り組み、学校における働き方改革を一層進めてまいります。

○教職員の不祥事防止について

昨年度、懲戒処分を合計で36件も行ったことは、極めて遺憾なことであり、千葉県の教育に対する信頼を損なう憂慮すべき事態であると深刻に受け止めております。

県教育委員会では、より効果的な防止対策を検討するため「不祥事防止対策有識者会議」を開催し、昨年12月に、不祥事防止に向けた具体的な対策をとりまとめました。この対策を各学校でも確実に実行していただき、学校と教育委員会が一丸となって、強い決意のもとで不祥事根絶に取り組んでまいりたいので、よろしくお願いいたします。

○新たな県立高校改革推進プランの策定について

今年度末で、現行の県立学校改革推進プランの計画期間が終了することから、引き続き、県立高校の魅力化・特色化を推進するため、外部有識者による懇談会を開催するとともに、市町村教育委員会等からも意見を聴取し、新たなプランを策定してまいります。

○ちばっ子「学力向上」総合プランについて

第3期千葉県教育振興基本計画の策定に伴い、県の学力向上施策である「ちばっ子『学

力向上』総合プラン」を見直し、新たに2つのアクションに再構成した「ちばっ子『学力向上』総合プラン（学びの未来づくり ダブル・アクション+ONE）」として、昨年度から取り組んでおります。

今年度は、学力向上推進に向けた取組を更に充実させ、総合プランのPDCAサイクルの確立を目指すことなどにより、「子供たちの学ぶ意欲の向上」と「教員の授業改善」の両面から一体的に施策を展開してまいります。

○特別支援教育の推進について

現在、「第2次千葉県特別支援教育推進基本計画」及び「第2次県立特別支援学校整備計画」のもと、共生社会の形成に向けた特別支援教育を推進しておりますが、両計画の期間終了に伴い、今年度は、新たな計画の策定を進めてまいります。

○子供を育む学校・家庭・地域の連携・協働について

県教育委員会では、「地域全体で子供たちを育む体制づくり」を推進するため、地域学校協働活動を県内各地へ広めるよう取り組んでおります。

また、家庭での児童虐待が社会問題化し、家庭における教育力の低下が問われており、児童虐待等の問題の未然防止、早期発見、早期解決に向けて、地域の実情に即した家庭教育への支援を一層充実すべく、「家庭教育支援チーム」の設置についても、積極的に進めてまいります。

[略歴]

千葉県環境生活部長（平成31年～令和2年）

千葉の魅力担当部長（平成29年～平成30年）